

●明治揚水^{ようすい}

明治地区は、水が引ける川が近くにないため、毎年のように水がたりませんでした。昭和36年は6月になっても雨が降らないのでたいへんこまりました。地区の人びとが集会を開き、阿武隈川から揚水(水をあげる)計画を立てました。

その後、明治地区土地改良区を作り、国や町からお金をかり、昭和37年4月30日、自分たちの力で工事をやりとげました。



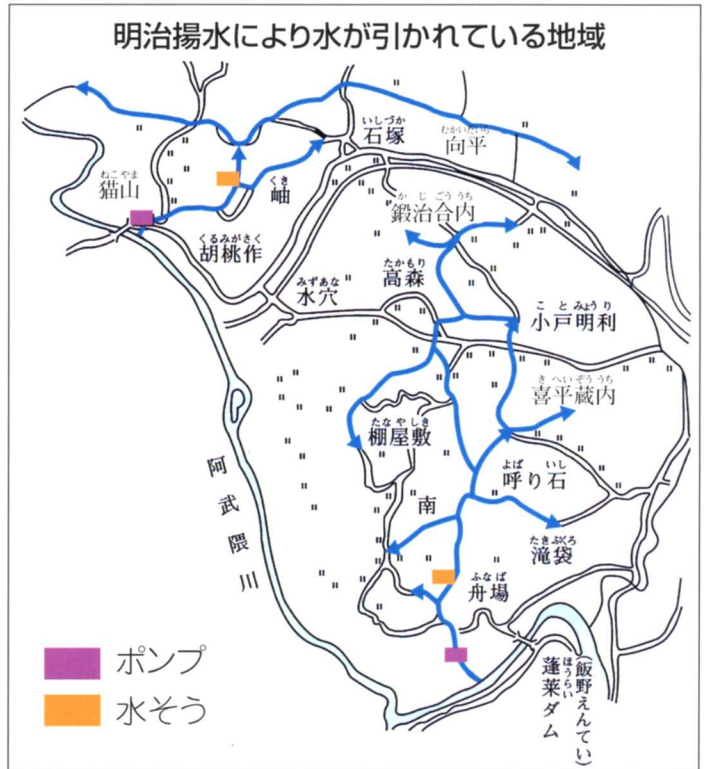
▲取り入れ口(猫山)



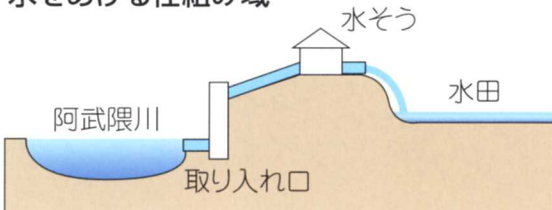
▲舟場のあたりのようす



▲ポンプ(舟場)



水をあげる仕組み域



ポンプを利用して、60～80m低い阿武隈川から水をくみあげています。

お米を作るために、いろいろな苦勞をしているんだね。

